

IT + バイオテクノロジー 循環式陸上養殖の最先端技術

創立以来15年を迎えた国際養殖産業会(JIFAS)は、ついに事業化の一步をスタートします。従来の単魚種養殖に変わる「複合循環式陸上養殖」です。

本技術は、従来いわれてきた循環式陸上養殖の最大の欠点である、設備に要する初期投資の大きさを十分に補うことができます。

とき、あたかも食糧危機が叫ばれており、世界の人口増に対する蛋白の供給は重要な問題です。また、次々に発生する食品の偽装問題に対する国民の、安全・安心・トレサビリティの問題もあわせて解決する技術です。

本号では、IT分野の基本ソフトおよびハードを作製して頂いた、株式会社 四国総合研究所(四国電力100%子会社)の技術説明を掲載します。本技術は各種計測データの収集、伝送、蓄積、処理・配信を行うシステムが容易にかつ低コストで構築可能な技術であり、1台のPCで1000箇所をコントロール可能です。

なお次号では、バイオテクノロジー分野を担当する、筑波大学、東京薬科大学等の関連技術を掲載する予定です。

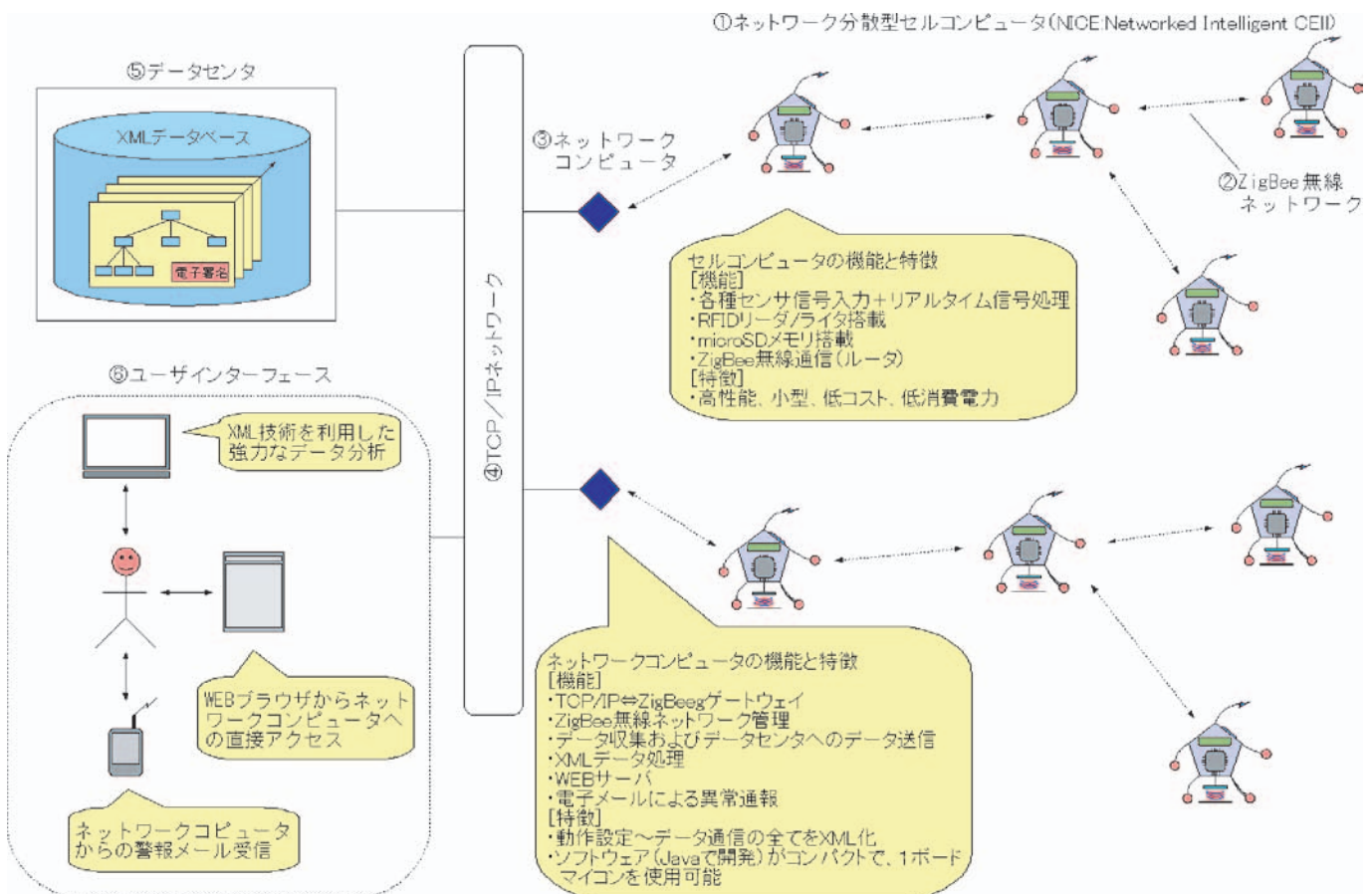


図1 システム全体アーキテクチャ (本文は次ページより)